



南九州市水道事業経営戦略

【概要版】



令和元年度完成 中部水源地

信頼されるいのちの水を
活気とともに 次の世代へ

令和8年3月改定
南九州市水道事業

南九州市水道事業経営戦略【概要版】

1 事業の概要と現状

【経営戦略改定の目的】

南九州市水道事業を取り巻く人口減少や施設老朽化、財政状況の変化に対応し、将来にわたり安全で持続可能な水道サービスを確保するため、令和2年度に策定した経営戦略を最新の事業環境に合わせて見直すものである。

また、水道事業ビジョンや総合計画との整合を図り、中長期的な施設更新と財政運営の方向性を明確にすることを目的とする。

【基本情報】

- 供用開始：昭和26年4月
- 給水状況：現在給水人口30,956人（普及率93.9%）
- 施設規模：浄水場42箇所、配水池58箇所
- 管路延長：約738km（南九州市から岐阜市までの直線距離に匹敵）

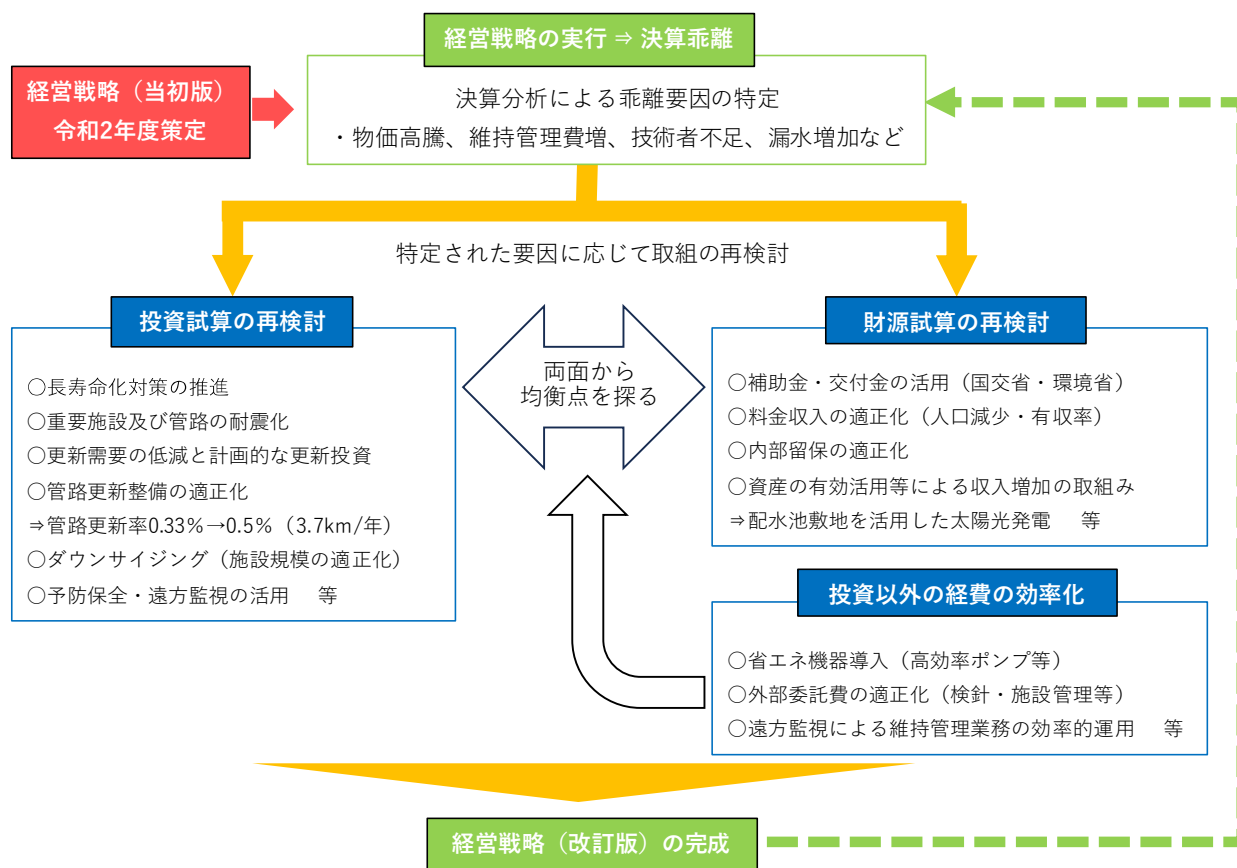
【事業の特性】

広大な市域に点在する集落へ給水するため、施設数が非常に多く、管路の総延長も長い。このため、他自治体に比べて維持管理コストが割高になりやすい構造的課題を抱えている。

南九州市水道事業経営戦略【概要版】

【経営戦略の改定時におけるプロセス】

本市では、決算分析による乖離要因の把握を起点として、投資・財源の再検討を行い、改定版経営戦略を取りまとめている。その一連の流れを下図に示す



「経営戦略改定の流れ（南九州市）」

（参考）総務省「経営戦略策定・改定マニュアル」を基に南九州市で作成

2 これまでの経営健全化の取組

【主な施策の成果】

1. 管理の効率化： 遠方監視システムの導入により、点在する多数の施設を少人数で効率的に監視・運用。
2. 老朽化対策： 優先順位に基づいた配水管布設替えを実施し、突発的な漏水事故の抑制に努めた。
3. 財政の健全化： 令和4年4月に料金改定を実施。経常収支の黒字を維持し、将来の更新需要に備えるための基盤を構築した。
4. 補助金活用： 国庫補助金（交付金）を積極的に確保し、企業債（借金）の抑制と公費負担の軽減を図った。



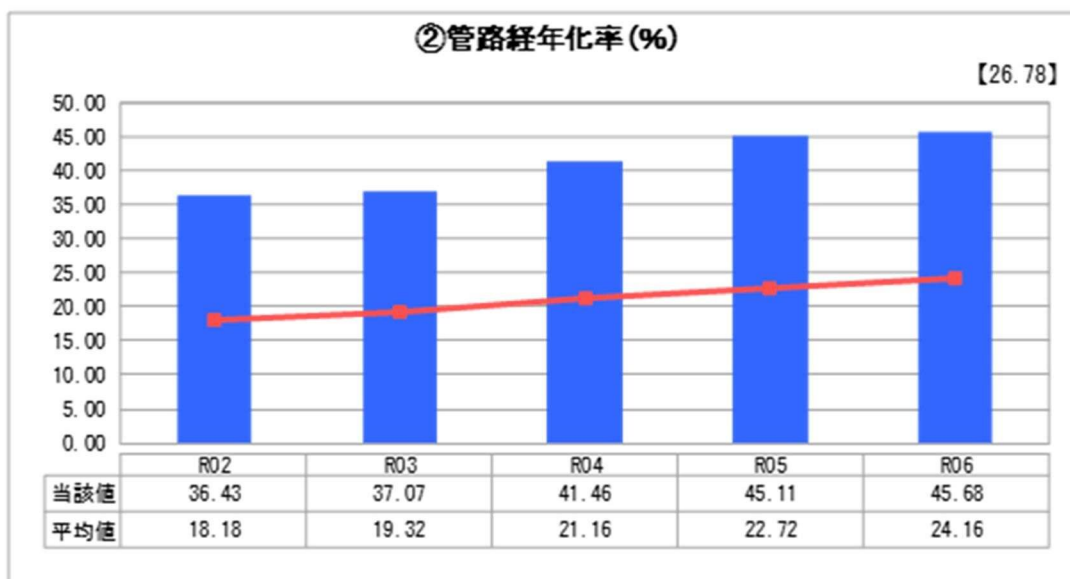
西部配水池 R5年度 遠方監視設置工事

3 経営比較分析表に基づく現状診断

【経営指標の分析】

- 収支の健全性（強み）：経常収支比率は100%を超えて推移。類似団体と比較しても累積欠損金が少なく、財務体質は比較的良好。
- 管路の老朽化（弱み）：管路経年化率：45.68%（類似団体平均 24.16%）
- 管路更新率：0.33%（類似団体平均 0.46%）
- 診断結果：収支は安定しているが、管路の老朽化が類似団体より著しく進んでおり、更新スピードの加速が喫緊の課題。

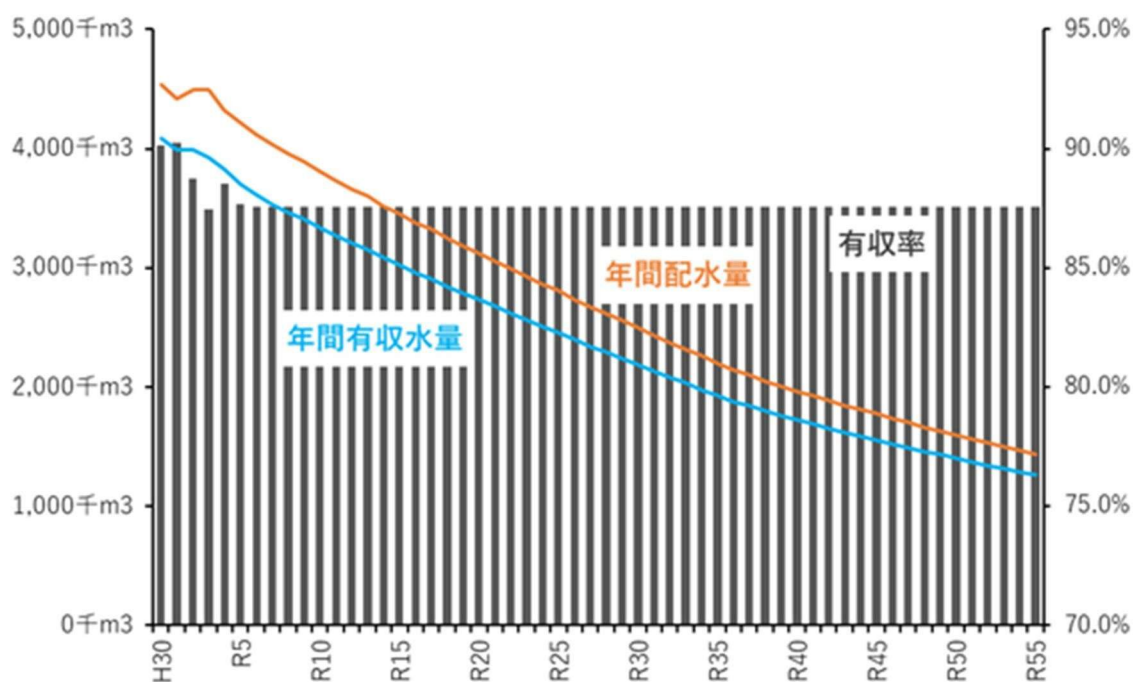
経営分析表（令和6年度決算）



4 将来の事業環境予測

【10年後の見通し】

- 給水人口： 少子高齢化に伴い、今後10年で15%以上の減少を予測。
- 水需要： 人口減少に加え、節水型社会の進展により有収水量は右肩下がりで推移する見込み。
- 料金収入： 水需要の減少に伴い、将来的に総収入が減少するリスクがある。
- 職員体制： 技術職員の退職や担い手不足により、直営・任用・委託を含む体制全体での業務継続が課題となる。更新需要の増加に備え、外部委託の活用など人材確保策が必要となる。

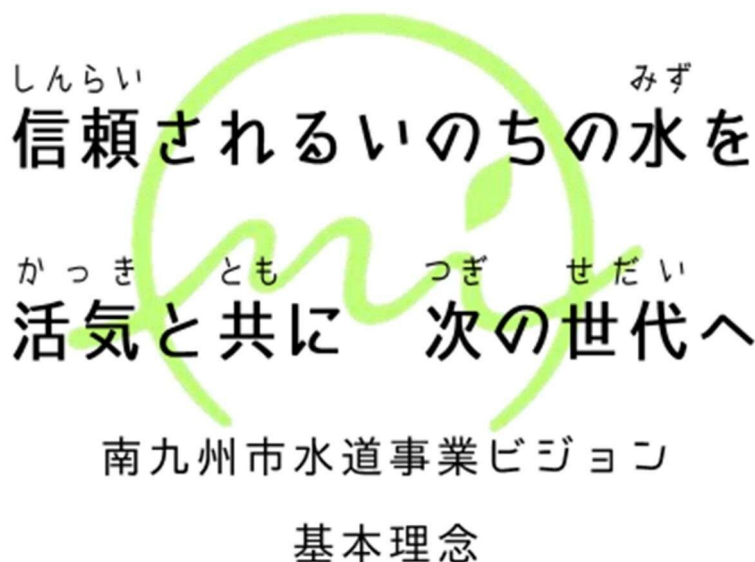


5 経営の基本方針

本市水道事業においては、平成 24 年 3 月に南九州市地域水道ビジョンを策定し、「自然豊かで 創造と活力に満ち 暮らしといのちが輝く“こころ”やすらぐまち～地域を支える水道の構築を目指して」を基本理念として、その実現に向けた事業運営を進めてきた。

また、市全体のまちづくりの方向性としては、平成 30 年 3 月策定の「第 2 次南九州市総合計画」において「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」を将来都市像に掲げ、持続可能な地域づくりを推進している。

さらに、令和 3 年 3 月には、国が示す「持続」「安全」「強靱」の観点を踏まえ、水道事業の将来像をより明確に示すため、「南九州市水道事業ビジョン（令和 3 年度～令和 12 年度）」を新たに策定した。同ビジョンでは、



という将来像を掲げ、重要なライフラインである水道を市民協働で次世代へ継承していくことを理想としている。

これら三つの計画（平成 24 年地域水道ビジョン、平成 30 年総合計画、令和 3 年水道事業ビジョン）は、いずれも「持続可能で、安全で、強靱な水道サービスの確保」という共通の方向性を示している。

「持続」「安全」「強靱」を柱とした水道事業運営の基本方針を明確にし、将来にわたり安定した水道サービスを提供するための取組を体系的に推進していく。

6 投資・財政計画

【投資計画】

- 老朽化が進む管路・施設の更新を加速させるため、更新率を現状の0.33%から0.50%（年間約3.7km）へ引き上げることを目指す。併せて、旧簡易水道施設を中心に施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）を推進し、維持管理コストの縮減と運転効率の向上を図る。更新時には施設・管路の規模・仕様を見直し、適正規模化による投資効率の向上を図る。

【財政計画】

- 更新投資の増大に対応するため、内部留保金・企業債・一般会計繰入金を適切に組み合わせ、安定した資金運用を行う。また、施設統合による維持管理費の縮減効果を財政計画に反映し、将来負担の軽減を図る。施工監理委託やアセットマネジメントの高度化により、更新時期の最適化と投資の平準化を進める。物価動向や更新需要を踏まえ、料金水準についても定期的に検証する。

【未反映の取組・今後の検討】

- 外部委託・第三者管理の活用（施工監理・維持管理の効率化）
- アセットマネジメントの高度化（更新優先度の明確化）
- 料金体系の定期的な見直し
- 再生可能エネルギー活用の検討（配水池上部の太陽光発電など）

南九州市水道事業経営戦略【概要版】

財政収支計画

財政収支計画表（千円）

		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
有収水量(m3/年)		3,528,528	3,464,054	3,408,543	3,334,757	3,270,050	3,205,342	3,152,988	3,083,286	3,022,200	2,961,230	2,908,090	
収益的収入	水道料金	531,672	516,290	624,369	613,923	604,439	594,928	587,029	623,786	614,010	604,133	595,180	
	給水負担金	2,819	3,040	3,399	3,373	3,345	3,317	3,292	3,265	3,237	3,208	3,179	
	他会計負担	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	
	その他営業収益	615	495	495	495	495	495	495	495	495	495	495	
	他会計補助金	44,106	50,833	51,112	48,576	44,265	40,539	40,077	40,763	40,486	40,640	37,786	
	長期前受金戻入	43,016	46,167	43,116	36,267	43,116	36,267	34,015	33,768	44,704	32,645	30,987	
	その他収益	495	1,413	1,879	1,835	1,777	1,762	1,703	1,696	1,686	1,670	1,654	
	計	623,774	619,289	725,420	705,519	698,489	678,359	667,661	704,823	705,669	683,842	670,331	
収益的支出	人件費等	81,689	62,770	62,770	62,770	62,770	62,770	62,770	62,770	62,770	62,770	62,770	
	動力費	77,074	77,398	77,902	77,961	78,199	78,407	78,893	78,916	79,124	79,304	79,664	
	薬品費	2,419	2,772	2,940	3,099	3,275	3,459	3,666	3,864	4,081	4,309	4,560	
	修繕費	71,623	73,380	71,250	71,250	71,250	71,250	71,250	71,250	71,250	71,250	71,250	
	委託料	49,819	59,355	59,355	59,355	59,355	59,355	59,355	59,355	59,355	59,355	59,355	
	減価償却費	272,268	276,206	265,548	259,417	251,219	249,072	240,703	239,728	238,353	236,023	233,852	
	（内 上水分）	267,571	265,849	248,483	235,254	220,575	211,899	198,225	191,024	183,647	175,091	167,925	
	（内 新規分）	4,697	10,356	17,066	24,163	30,643	37,173	42,478	48,704	54,706	60,932	65,927	
	資産減耗費	5,189	5,100	8,167	10,113	9,672	10,113	8,167	10,113	9,672	10,113	8,167	
	支払利息	23,674	25,039	27,803	30,091	32,735	35,091	37,522	39,220	41,281	43,098	45,018	
	（内 上水分）	23,674	25,039	20,307	18,560	16,922	15,456	14,112	12,778	11,444	10,145	8,924	
	（内 簡水分）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	（内 新規分）	0	0	7,496	11,531	15,813	19,635	23,410	26,442	29,837	32,953	36,094	
その他費用	28,279	42,831	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000		
計	612,034	624,852	607,735	606,056	600,475	601,517	594,327	597,215	597,886	598,221	596,636		
経常損益		+11,740	-5,563	+117,685	+99,463	+98,014	+76,842	+73,334	+107,608	+107,783	+85,621	+73,695	
資本的収入	企業債	90,000	140,000	155,200	164,700	147,000	146,300	122,000	140,200	134,200	140,200	115,200	
	補助金・交付金	18,670	18,933	39,424	40,833	42,958	46,333	32,374	42,958	42,958	42,958	29,874	
	他会計補助等	170	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他資本的収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	108,840	159,433	194,624	205,533	189,958	192,633	154,374	183,158	177,158	183,158	145,074	
	資本的支出	建設改良費	208,774	251,502	298,200	315,450	288,000	290,210	235,760	276,710	266,760	276,710	222,000
		（内 更新分）	130,938	149,808	184,500	228,450	218,500	228,450	184,500	228,450	218,500	228,450	184,500
		（内 強硬化分）	77,835	101,694	113,700	87,000	69,500	61,760	51,260	48,260	48,260	48,260	37,500
		元金償還	135,849	144,624	141,958	135,201	120,409	106,455	109,919	109,275	108,096	105,253	99,513
		（内 上水分）	135,849	144,624	141,958	135,201	120,409	106,455	105,501	100,846	94,971	87,036	76,580
（内 簡水分）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
（内 新規分）		0	0	0	0	0	0	4,418	8,429	13,125	18,217	22,933	
その他支出	878	13,610	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
計	345,500	409,736	441,158	451,651	409,409	397,665	346,679	386,985	375,856	382,963	322,513		
収入が支出に不足する額		236,660	250,303	246,534	246,118	219,451	205,032	192,305	203,827	198,698	199,805	177,439	
補填財源	減債積立金												
	建設改良積立金												
	未処分利益剰余金	296,394	275,667	377,416	464,024	560,361	655,088	750,972	870,825	983,231	1,082,537	1,189,825	
計	296,394	275,667	377,416	464,024	560,361	655,088	750,972	870,825	983,231	1,082,537	1,189,825		
債務残高	上水分	985,346	929,333	880,589	828,230	768,148	706,104	643,614	586,664	535,544	503,742	472,815	
	簡水分	837,754	760,544	681,923	607,615	543,216	488,189	434,488	379,824	327,457	275,200	229,106	
	新規分	0	153,200	288,300	443,500	608,200	755,200	897,082	1,010,654	1,137,729	1,253,712	1,370,979	
	計	1,823,100	1,843,077	1,850,812	1,879,345	1,919,564	1,949,493	1,975,184	1,977,142	2,000,730	2,032,654	2,072,900	
供給単価		150.7	149.0	183.2	184.1	184.8	185.6	186.2	202.3	203.2	204.0	204.7	
給水原価		161.3	167.1	165.6	170.9	170.4	176.3	177.7	182.7	183.0	191.0	194.5	
料金回収率		93%	89%	111%	108%	108%	105%	105%	111%	111%	107%	105%	

7 フォローアップ

南九州市水道事業経営戦略は、10年間の計画期間を通じて、将来の事業環境を見据えた中長期的な投資・財政運営の方向性を示すものであり、掲げた目標の着実な達成を目指す計画である。人口減少や施設老朽化など、事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、定期的に計画の評価や見直しを行うことで、持続可能な水道事業の実現と市民への説明責任を果たす。

また、本経営戦略の運用にあたっては、PDCAサイクルに基づく実行体制を整備し、計画・実行・評価・改善を継続的に行うことで、計画内容の実効性を高め、必要に応じて戦略の再構築を図る。

